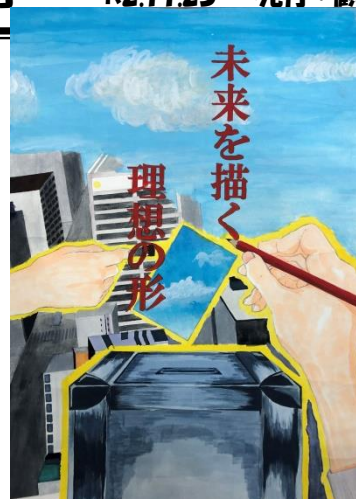


令和2年島根県明るい選挙啓発ポスター

加納賞 2年女子 第2席

佳作 2年女子 第3席

美術部で6月30日から7月21日まで選択制で取り組んだ島根県明るい選挙啓発ポスター（本校から2年2名、1年3名が出品）に全県から中学生80名の応募があり、本校から2年生が**加納賞**（会長賞・中学生1名に次ぐ第2席〈中学生2名〉）に、2年生が**佳作**（加納賞に次ぐ中学生8名）に選ばれました。



佳作 2年

2年生の作品は、投票箱と手、切り取った青空を黄色く囲み、選挙で一票を投じることは、未来の理想の形を描くことだというメッセージを伝えています。都会の町並みにあっても、青空や自然を失わないようにしたいという願いも感じ取れます。投票箱や手の描写力も優れています。

会長賞の作品は 向陽中学校 2年

全国の小中高で応募のあった80,639点の作品の中から各都道府県で821点が選ばれ、中央審査の結果、文部科学大臣・総務大臣賞に小・中・高それぞれ6名が選ばれました。今回、島根県の中学校作品は全国受賞がありませんでした。下記の作品は島根県の第1席、会長賞を受賞した向陽中学校2年生の作品です。どんな点が評価されたのか考え、参考にしていきましょう。



加納賞 2年

選挙で投票箱に投じられた票が、人々の願いとなって、政治に生かされ、まちづくりに反映される。選挙の意味を考えさせられるポスターになりました。青空、波が打ち寄せる海、整然と美しく並ぶ家々。道路に車が走り、遠くには白い風車が風を受けて回っている。そんな当たり前の日常がよりよくなっていくために、あなたの一票が大切であり、よりよい町を彩っているというメッセージを私たちに伝えます。一票が虹色になりそれが空に散って街に彩りを与えるという発想が実に新鮮です。



会長賞

出雲市立向陽中学校 2年